

五色池通信

301 2011年 10月 4日 発行
中土手に自然を戻す市民の会

東京都江戸川区東小松川3-35-13-204

〒132-0033 Tel 3654-7240 Fax 03-3654-7256

ホームページ: <http://www.cleanaid.jp/nakadote/>

五色池の植物調査 約百種類の豊かな植生が

予定した8月21日は雨のために自然遊びは中止、かわりに9月18日に植物調査と自然遊びを行いました。

植物調査は、植物に詳しい中嶋先生(下平井水辺の楽校代表)の指導で行い、五色池のエリア内だけで、60種類の野草を確認しました。すでに確認済みの樹木を加えると75種類の植物が確認されました。このほか、今回は確認されませんが、春に確認されている草本を加えると、約

100種に及びます。適度に草刈りをして管理している草地の生態系がいかに豊かであるかがわかります。また、子どもたちと一緒にバツとりを行い、トノサマバツ、ツチイナゴ、コバナイナゴ、ショウリヨウバツ、ショウリヨウバツモドキ、セスジツユムシ、ササキリの仲間、チョウセンカマキリ、コカマキリ、エンマコオロギなどが見つかりました。

ました。出来上がった竹でっぼうにエノキの実をつめて飛ばします。1発目をつめて先に押しやり、2発目をつめて強く押し込むと、空気の圧力で、先につめた弾がポンと音を出して飛んで行きます。エノキ

は、五色池周辺にもありますが残念ながらまだ実のなっている木はありません。一週前に下平井水辺の楽校で採ってきたものを使いましたが、数が足りず、ティッシュペーパーを水にぬらしたのも使いました。(紙は後で拾った)

弓矢の弓は、竹刀の竹(ばらした1本)を使って作りました。以前のものより反発力が弱く、低学年の子供たちには向いています。高圧線下の広場で行いました。



竹でっぼう作りと弓矢遊び

午後は竹でっぼう作りと弓矢遊び。

9月とはいえまだまだ日差しの暑い日だったので、高速道路下の日陰でお弁当を食べ、午後のタケデッポウ作りをしました。

竹は河川敷にたくさん生えているシノダケを使い、中に通す棒は、水鉄砲用に採ってきた真竹を割って使います。

鋸や小刀を使う作業なので、大人がついて教えながら作り



この後の行事予定

10月10日(日) 中土手五色池

10:00 鳴く虫を探そう 自然遊び

10月16日(日) 下平井水辺の楽校

10:00 荒川クリーンエイド、自然遊び

10月23日(日) 小松川自然地

10:00 生物調査、自然遊び

写真 クズの花 植物調査 昆虫解説
コカマキリ 竹細工(竹デッポウ作り)

荒川で秋の鳴く虫やバッタを探そう

10月10日(祝) 午前10時から

荒川中土手五色池周辺 (図)

参加費 100円 (要申込)

服装:長そで、長ズボン、帽子、雨具

持ち物:水筒、弁当、トン汁の具(切ったもの)

中土手に自然を戻す市民の会(090-7208-1592)



彼岸も過ぎて涼しくなり、秋の鳴く虫の声もにぎやかになってきました。街なかでは、街路樹のアオマツムシと家の周りのツヅレサセコオロギがほとんどですが、荒川の河川敷では、様々な虫の鳴き声が聞こえてきます。

荒川中土手の五色池周辺で毎年実施している秋の鳴く虫を探す行事では、いつもたくさんの虫が見られます。

コオロギの仲間ではエンマコオロギとオカメコオロギ、ミツカドコオロギ、カンタン、カネタタキなど。

エンマコオロギは日中からきれいな声で鳴いており、虫かごに入れて持ち帰って、鳴かせてみてください。

鳴く虫の女王と言われるカンタンは、日中はまだ鳴きませんが、夜になるといきいかな声で鳴いています。うまく

捕まえられたら、虫かごに入れて持ちかえり、自宅で夜に鳴かせるよう挑戦してみてください。それぞれの買い方の指導も行います。

下の写真は中土手で見つけた虫たちですが、このほかにもカマキリ、コバネイナゴ、トノサマバッタ、ツチイナゴ、ツユムシなどいろんな虫が見つかります。

そのほか、赤トンボやシジミチョウ、コガネグモなど、様々な虫が見られて、五色池は子どもたちにとっては楽しい昆虫の楽園です。

なお、お昼はなみなで持ち寄った「具」を集めてトン汁を作り、弁当・おにぎりを食べます。

午後は自然を利用した遊びも予定しています。



写真左上から
カンタン
エンマコオロギ
ミツカドコオロギ
ツチイナゴ
トノサマバッタ

